

親子の学び応援講座（川俣町立川俣小学校）

令和7年11月26日（水）川俣町立川俣小学校において、親子の学び応援講座を開催しました。県北教育事務所では、親子が共に学び育ち合う「家庭教育」を支援しています。今回は、SNSなどのインターネットとの適切な付き合い方、様々なトラブルやリスクからの守り方について小学3~6年生の親子で一緒に学ぶことで、共にインターネットの使い方を振り返り、考える機会とするため実施しました。



講師 福島県警察本部少年女性安全対策課
県北少年サポートセンター
専門少年警察補導員 小泉 理恵 氏

SNSをきっかけとして被害に
あった児童（18歳未満）は全
国で**1486人（R6）**！

被害児童のうち9割がフィルタリング
を利用ていなかった



全国の小学生の被害は**10年
前と比べて4倍に増加**！！

小学生の被害者のうち、オンライン
ゲームがきっかけとなったのは、98
人（約70パーセント）

①判断力



公開されている情報は正し
いかいソカ、安全か危険か、使
ってよいか悪いかを見分けるこ
とが大切です。



②自制心

ネットは公共の場です。書き込んだこ
とはみんなが見ています。書き込む前
に立ち止まって考えるようにしましょう。

③責任力

ネットは自己責任が原則で
す。責任がとれないことはやって
はいけません。



インターネット利用 4つの力

④想像力



インターネットは激しく変化してお
り、想像を超えたことが起こります。
起こりうるトラブルを、想像力、予測
力で回避しましょう。

【感想】

- フィルタリングって大切なんだなと思いました。これからちゃんとルールなどを
守りたいと思います。（小学生）
- 最近子どもがオンラインゲームを始めたので、しっかりフィルタリングやペアレン
タルコントロールを勉強し、設定して子どもを守りたいと思いました。（保護者）

警察庁
Web サイト



文部科学省
YouTube サイト



こども家庭庁
Web サイト



皆さんの家庭では「フィルタリング」や「ペアレントコントロール（家族等による管理機能）」を活用していますか？家族等で決めたルールは守っていますか？親子でSNSなどのインターネットの使い方を振り返り、ルールが守れていなかった場合は改めてルールについて話し合ってみましょう。

子どもたちが犯罪の被害者にも加害者にもならないためには、
私たち大人も日々知識をアップデートしていくことが必要です。
また、普段からコミュニケーションを大切にし、子どもたちが少し
でも不安を感じたら、すぐに家族等周りの大人に相談できる関係
を築くことが大切ですね！

家庭教育に関するお問い合わせは
県北教育事務所 総務社会教育課 伊藤まで
電話 024-521-2814
E-mail itou_emi_02@pref.fukushima.lg.jp